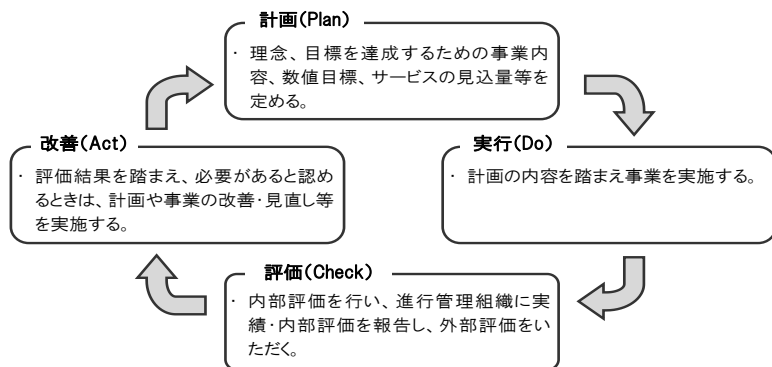


I 事業の進捗状況

基本目標2 みんなで支え合い、創っていくまち



※Check(評価)は、次の4段階で行う。
 A:100%以上(計画以上)
 B:80%以上100%未満(適切・計画通り)
 C:60%以上80%未満(改善の余地がある)
 D:60%未満(改善する点が多い)
 ×:未実施

【重点2】別紙

番号	19	ページ	39	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(1)地域の様々な人や団体が集まれる居場所づくり				
事業名	①地域の様々な人や団体が集まれる居場所づくり【新規】				
事業内容	地域の誰もが利用者にも担い手にもなることができ、多世代が集まれる居場所づくりを目指す。そのために人材の発掘、立ち上げ支援を行うとともに、運営の支援、活動者相互の情報交換の場づくり等を行う。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握・整理 ニーズ分析 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の発掘 説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上げ支援 運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上げ・運営支援 活動者の情報交換の場づくり 	
Plan'(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> 各地域の現状とニーズの把握とリスト化 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> 常盤町内において空き家を利用した地域の居場所を把握した 引き続き地域の集える居場所「スターキッズ」の運営支援を行った 				
Check(評価)※	C				
	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の現状把握に至っていない 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 地区別懇談会や各地域でのイベントや会議等に積極的に参加し、地域の既存の活動や場所の情報収集を行う 				
備考					

【重点2】別紙

番号	20	ページ	39	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(1)地域の様々な人や団体が集まれる居場所づくり				
事業名	②ふれあいサロン・子育てサロン【再掲】番号15				
事業内容	住み慣れた地域の中で住民同士のつながりを持てる憩いの場所を作ることを目指して、担い手も参加者も両方が主役となれるふれあいサロンの立ち上げを進めていく。また既存のサロンが継続して活動できるよう支援を行う。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所以上立ち上げ 安定したサロン運営に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所以上立ち上げ 検討を踏まえた既存サロンへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所以上立ち上げ 前年度の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所以上立ち上げ サロン活動継続支援 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所以上立ち上げ 安定したサロン運営に向けた検討と実施 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサロン2か所(町田、堺)、子育てサロン3か所(町田、南、鶴川)で新規に立ち上がった 代表者会議開催時に課題把握のためのアンケートを実施し多くの課題が出たが、中でも「スタッフの高齢化」「参加者の減少」「男性参加者が少ない」が多かった 				
Check(評価)※	B				
	<ul style="list-style-type: none"> 新規サロン5か所設置は達成できた 課題分析を行ったが、サロン運営支援の検討まではできなかった 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 分析結果を踏まえた運営支援を行っていきたい 年間報告等から運営に苦勞しているサロンを中心に訪問等とおして支援を強化していきたい 				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 現在のサロン数は71か所(内子育てサロン11か所) 2017年度中に1か所活動終了した(子育て・町田地区) 				

番号	21	ページ	39	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	①生活支援コーディネート事業(介護予防・日常生活支援総合事業)【新規】【再掲】番号17				
事業内容	市内12か所の高齢者支援センターに配置されている生活支援コーディネーターが、担当地域の住民主体の支え合い活動の創出とネットワーク化のために、住民主体の介護予防・生活支援サービスを創出するとともに、ニーズ把握と担い手の掘り起こし等ができるよう支援する。 あわせて高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進するために市全域の課題について話し合いの場をつくり検討・調整を行う。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 市内の活動把握 課題の抽出 市全域の課題解決に向けた取り組みの検討 研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い活動の創出支援 活動グループの連携体制整備 市全域課題の検討調整、研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い活動の創出支援 活動グループのネットワーク形成 市全域課題の検討調整、研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い活動の創出支援 活動グループのネットワーク支援 市全域課題の検討調整、研修の実施 	
Plan(計画変更)					
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活支援コーディネーターが把握した市内の住民主体の活動団体や抽出した地域課題を把握し、圏域だけでは解決の難しい課題について、市支え合い連絡会にあげ、解決に向けた取り組みを検討した。またコーディネーター対象の研修を実施した 				
Check(評価)※	B				
	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施することができた 				
Act(改善)					
備考					

番号	22	ページ	40	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	②歳末たすけあい事業				
事業内容	毎年12月に町内会・自治会や福祉施設、企業、ボランティア団体等、多くの市民や関係機関の協力を得ながら歳末たすけあい募金を実施する。 集まった募金は、配分推薦委員会をととして、町田市内でたすけあい活動やささえあい活動を行うボランティアグループや市民活動団体等の事業への配分を行う。今後は地域の居場所づくり、地域の人材育成事業へ配分できるような仕組みを構築する。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・配分団体へのニーズ調査 ・地域の居場所、人材育成事業への配分仕組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を踏まえた配分方法の検討 ・地域の居場所、人材育成事業への配分要項作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・配分内容の見直し ・配分について周知 ・地域の居場所、人材育成事業への配分 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所、人材育成事業への配分 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を踏まえた配分方法の検討 ・地域の居場所、人材育成事業への配分仕組みの検討 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な配分のあり方の検討につながるようニーズ調査方法を見直した 				
Check(評価)※	D				
	<ul style="list-style-type: none"> ・配分内容へのニーズ調査の実施に至っていない ・地域の居場所、人材育成事業への配分仕組みの検討も実施に至っていない 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・他市の配分仕組みおよび配分内容の調査を行う 				
備考					

番号	23	ページ	40	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	③ボランティア相談・支援事業				
事業内容	<p>ボランティアに関する相談や活動先の紹介、ボランティア依頼の受け付けや調整を行う。 また、安心して活動ができるよう、万一の事故に備えボランティア保険の加入につながるよう情報提供や周知も行う。 ボランティアの力だけでは解決が難しいケースについては関係機関と連携しながら支援を行い、 ボランティア相談から見えてくる地域の課題の把握にも努めていく。</p>				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手と依頼者のニーズ把握 ・ボランティアマッチングのあり方検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア相談PRの検討 ・地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなPRとマッチングの実施 ・地域課題の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の把握 ・相談体制の構築 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアマッチングのあり方についてのアンケート調査の実施の検討 ・ボランティア相談PRの検討 ・地域課題の把握 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会を4回開催し、ボランティアコーディネート後のフォロー等について検討を行った ・ボランティア活動希望者のニーズを把握しながら、ボランティアマッチングを行った 				
Check(評価)※	C				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアマッチングのあり方について具体的な検討には至らなかった 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動者・活動先にアンケートを行い、現状分析する 				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体登録-177団体 ・ボランティア個人登録-99名 ・ボランティア依頼-215件 				

番号	24	ページ	40	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	④ボランティア養成講座【再掲】番号12				
事業内容	関係団体との連携のもと、各種ボランティア講座を開催し、ボランティアの発掘・育成を図り、ボランティア活動の推進に努める。社会情勢の変化に伴い、課題解決のための新規講座を検討する。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア講座の開催 新規講座の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア講座の開催 新規講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア講座の開催 新規講座の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア講座の開催 ボランティア活動への支援 	
Plan'(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア講座の開催 ボランティア入門講座等の新規講座の検討 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> 手話講習会(初級・中級上級・養成)(昼・夜、8クラス)(全32回) 要約筆記者養成講座(全21回) 傾聴ボランティア養成講座(全6回) 				
Check(評価)※	C				
	<ul style="list-style-type: none"> 新規講座の検討についてまだ具体化していない 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの発掘・育成のためのボランティア入門講座等新規講座の検討 				
備考					

番号	25	ページ	40	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	⑤ボランティア団体への活動支援				
事業内容	市内で活動しているボランティアグループや市民活動団体に対し、スキルアップと資質向上のための研修会の開催や、歳末たすけあい募金を財源とした活動資金の助成等の支援を行い、団体活動の活性化を図る。 また、団体にとって会議室等の活動場所が課題となっており、今後は新たな活動場所の確保と提供にも努めていく。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援講座の開催 ・団体へのニーズ調査と検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援講座の開催 ・団体への新たな支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援講座の開催 ・活動場所の確保と情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援講座の開催 ・活動場所の確保と情報提供 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動支援講座の開催 ・団体へのニーズ調査と検証 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・財団や企業等の助成金をテーマとした講座を実施した 				
Check(評価)※	C				
	ニーズ調査の実施までには至らなかった				
Act(改善)	2015年度に市民協働推進課が実施した、ボランティア団体へのアンケートを参考に分析する				
備考					

番号	26	ページ	40	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(2)地域福祉活動への支援				
事業名	⑥赤い羽根共同募金				
事業内容	共同募金会町田地区協力会として、町内会・自治会、民生委員・児童委員協議会、福祉施設、福祉協力店、一般企業、保育園協会等、多くの市民・期間からの協力を得ながら実施し、PRの強化として企業と新しい連携の仕組みを構築する。配分基準の見直し、効果的な配分を行う。 地域への福祉啓発と募金増額を目指し、福祉協力店の商店をモデルとして赤い羽根募金付き自動販売機の設置を推進する。				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 募金付き自動販売機を1台設置 配分基準の検討 連携できる企業の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 募金付き自動販売機を1台設置 配分基準の変更・実施 企業との取り組み検討 	<ul style="list-style-type: none"> 募金付き自動販売機を1台設置 配分基準の検討 企業と連携し新しい取り組みを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 募金付き自動販売機の検証 配分基準の検討 企業との取り組みを継続支援 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> 赤い羽根募金付き自動販売機を設置 配分基準の変更・実施 企業との取り組み検討 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉協力店に対して実施したアンケートの中で、募金付き自販機の設置について尋ねたが、前向きな回答は得られなかった 配分推薦委員会にて配分基準を検討し、配分を行った 				
Check(評価)※	C				
	募金付き自販機の設置について検討したが、設置には至らなかった				
Act(改善)	企業との連携を図っていく				
備考					

番号	27	ページ	41	担当	地域福祉課
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化				
取り組み	(3)地域資源の活用				
事業名	①地域活動の場の確保【新規】				
事業内容	<p>新設の場所のみではなく、既存の施設等も活用し、身近な場所で地域の多様な人・団体が集まれる活動の場を提供し、住民主体の活動を支援します。 関係団体や福祉施設の場所提供等の協力体制を調整支援していきます。</p>				
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
Plan(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の調査 ・利用要件の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の開拓整理 ・関係団体・施設等への説明会実施 ・ふれあいサロン、ボランティア団体への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスト化 ・地域住民への周知 ・場所提供の調整・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所提供の調整・支援 ・リストの更新 ・継続的・効果的な提供方法の検討 	
Plan(計画変更)		<ul style="list-style-type: none"> ・企業の資源(空きスペース)や地域貢献活動への調査方法の検討、調査実施 			
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人福音会が開催する子ども食堂の立ち上げ、運営支援を行った ・高齢者施設を利用し、認知症カフェ、食事会の運営委員立ち上げ支援、運営支援を行った 				
Check(評価)※	C				
	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の調査、利用要件の整理に至らなかった 				
Act(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の資源調査行う ・各地区の生活支援コーディネーター(第2層)が社会資源調査を行い冊子にまとめているので、地域資源については冊子を活用する 				
備考					

番号	28	ページ	41	担当	法人総務課 せりがや事業係			
基本施策	2-2 地域福祉活動の活性化							
取り組み	(3)地域資源の活用							
事業名	②せりがや会館管理運営事業							
事業内容	福祉的・文化的活動や生きがい活動の拠点として、市民や公的機関、福祉関係団体に活用していただけるよう、館内施設の貸し出しを行う。 また、館内の使用許可団体を対象とした連絡会を開催し、有効活用に向けた情報共有を継続して行っていく。							
年度	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
Plan(計画)	・会館の有効活用に向けた情報収集		・会館の有効活用に向けた調整・検討		・貸し出しの拡大		・貸し出しの拡大	
Plan [^] (計画変更)								
Do(実行)	<ul style="list-style-type: none"> ・会館利用団体に意見聴取を行った他、一般の利用団体が予約しやすいよう会議室利用方法を改めた ・市施設案内予約システムへの掲載を市に打診したが、掲載が叶わず、社協だよりやチラシ配布により会議室利用促進を行った 							
Check(評価)※	A							
	<ul style="list-style-type: none"> ・会館利用団体が利用できる会議室を用意し、一般の利用団体が利用できる会議室の空き状況を増やし、予約しやすいようにした 							
Act(改善)	自動販売機の設置に向け検討した							
備考								